

【評価実施概要】

事業所番号	170400782		
法人名	有) オフィス石井		
事業所名	メイハウス グループホーム		
所在地	〒063 -0022 札幌市西区平和2条6丁目1 -5 (電 話) 671 -7732		
評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	〒060 - 0061札幌市中央区南1条西5丁目7 愛生館ビル 601 B		
訪問調査日	平成20年3月1日	評価確定日	平成20年3月31日

【情報提供票より】(20年 2月 5日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 5月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	12 人	常勤 6人, 非常勤 6人, 常勤換算	2.8人

(2) 建物概要

建物構造	木造 2階建 造り		
	2 階建ての 1~2 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	水道光熱費 15,500円
敷 金	有(90.000 円)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	350 円	昼食 500 円
	夕食	500 円	おやつ 0 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(2 月 5 日現在)

利用者人数	8 名	男性 0 名	女性 8 名
要介護 1	1	要介護 2	3
要介護 3	3	要介護 4	1
要介護 5		要支援 2	
年齢	平均 34.8 歳	最低 74 歳	最高 97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	後藤田医院・博友会病院・西円山病院
---------	-------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

山と閑静な住宅街の一角に違和感もなくホームが建てられている。木材をふんだんに使用したホームの床や壁などからも、自然の香りと穏やかな雰囲気を感じ出ている。建設時に「札幌市福祉のまちづくりバリアフリー整備規準」の適合を受け、利用者にとって生活しやすい構造などの配慮がある。また、利用者の生活状況では、個別の状態に合わせた対応や外出機会を確保するなど、管理者の生活者としての視点に立脚した姿勢が感じられる。また、無断外出する利用者に対し、近隣の商店などと協力して安全体制に留意したり、終末期の看取りを家族・医師・職員が一体となり行うなど、ホームの理念である「人間としての尊厳」の実現に向けての努力が推察できる。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	専務職(看護師、ケアマネジャーなど)をパート雇用にて配置し、職員構成の組み立てが工夫されている。また、地域支援関係を大切にしているが、さらに密度ある連携に努めている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目	ミーティングを通し、職員全員で話し合いながら取り組んでいる。今後の利用者の生活の質向上に向けた姿勢が感じられる。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
重点項目	地域町内会、地域包括支援センター、その他関係者も含め定期的開催している。特に地域の郵便局員が参加しており、新たな地域活動の可能性が示唆されていると思われ、今後の活動に期待したい。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
重点項目	入所時及び家族の来所時に家族との話し合いを積極的に行うことで利用者の日々の生活に取り入れていく姿勢がみられる。また、ホームの会報を定期的に家族へ送付するほか、利用者の個別の体調・状態変化に応じ、家族へ連絡し、相談できる体制を整備している。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	利用者の個別な体調などを気遣った「何気ない地域との関係づくり」は、得てして、利用者全体を集団としてとらえ、個が埋没してしまう傾向が伺える昨今においては、利用者の個の尊重としての姿勢がみられ、高齢者のあるべき生活のひとつの姿と感ぜられる。しかしながらも、ワンラックアップした利用者の生活の質向上にむけ、より意図的な地域とのかわりをもつことも期待したい。

評価結果（詳細）

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営推進会議の定期的な開催や地域住民へのホーム行事への案内や市包括支援センターと交流を積極的に行っている。		
2	2	○ 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念として掲げる「人権の尊重」に対し、定例のミーティングなどにより方法の具体化をはかるとともに、入所者の個性を大切にするなど管理者のリーダーシップにより職員全体の自己研鑽の姿がみられる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホームが木々などの自然と街並みとうまくマッチして、違和感を感じることもなく建てられてる。管理者自身が、この地区に長年住んでいる中での地域住民との関係の証のひとつともいえるが、気負うことなく、さりげない中で、地域の行事などに参加している。	○	管理者が築かれた地域との信頼関係を、今後とも利用者の生活に生かして頂けるよう配慮をお願いしたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	会議、ミーティングなどを通し、外部評価をつける意義を職員全員で確認している。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を定例的に開催するとともに推進員を対象に市包括支援センター長からグループホームの役割や意義についての研修を開催し、地域とホームとのあり方を深めている。また、ホーム便りを配布、関係づくりを行っている。	○	地域の郵便局の参加など、新しい試みが感じられる取り組みといえる。更なる地域づくりを期待したい。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者が区にあるグループホーム管理者会議（構成員23団体）に積極的に参加しており、他事業所との連携も含め、市との情報交換は密である。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ホーム便りにより利用者の生活の状態などの案内をするともに、利用者の個別の近況について報告している。また、利用者の体調変化が生じた場合、速やかに、家族へ連絡・相談するなど家族との積極的な関係づくりをしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム内で苦情処理の体制がつくられ、管理者、計画作成担当者及び他職員で解決策を検討する機会を随時設けている。また、外部評価を積極的に受けて情報公開に努めている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者が進んで勤務するなど、利用者との馴染みの関係づくりをすすめている。また、職員の離職がすすまないよう働きやすさに配慮がみられる。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の専門性の向上にむけ、介護福祉士の資格取得も含め、職員の外部研修のための機会を積極的につくるなどの配慮がみられる。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	区内のグループホーム管理者会議などを通して関係機関との情報交換を積極的に行うと共に、職員の勉強会を企画し、サービスの質の向上をはかっている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に利用者、家族との面談を通し、利用者の長年の人生の歩みや好みなどを聞く機会を持つことで一人一人の尊重をはかっている。また、これらをケアプランに反映している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者が職員とともに食材の買物に行ったり、調理を一緒にするなど、職員と利用者が「共にいる」時間を多くもつ機会を確保している。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の状態に応じたコミュニケーションの取り組みの姿勢がみられ、文字や絵などを使ったホーム内の掲示も積極的に取り入れている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員ミーティングの定例化をはかり、日頃から職員同士での利用者の状態について情報交換をはかっている。また、ケアプランに応じた利用者個々の介護計画が整備されている。		
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は設定された期間及び利用者の状態の変化に応じ、家族などとの連絡をはかりながら、随時、作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の個別な状況（通院など）に対し、随時対応しており、また、夜間での利用者の不穏な状態に対してもホーム長、主任に連絡・相談の可能な体制となっている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	近隣の2ヶ所の病院と協力体制にあり、利用者の状態に応じた往診が可能など、医療との関係が円滑となっている。		
19	47	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	過去に、終末期の看取りを家族・かかりつけ医との連携で行っており、職員同士での話し合いも十分できている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個々の利用者に応じた声かけをしており、利用者の表情もあかるい。また、介護記録などの個人情報は事務室で保管しており、持ち出しができないようになっている。		
21	52	○ 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	天気がよい日は利用者の体調に応じ近くの公園を散歩したり、買物に職員と一緒にでかけるなど、本人の意向を大切にしている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の食べたいものを聞きながら、職員と共に献立をたてたり、食材の買物に出かけるなど食事の準備を通し、ホーム全体で関わろうとする意識がみられる。また、食事の後片付けなど利用者の役割づけへの配慮が伺える。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴を週に曜日を決めて行っている一方、体調などで入浴ができない場合は、随時、対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家族との話し合いを通した、利用者の好きなことの情報収集を経て、個々の状態に応じたかわり、例えば、畑、調理、買物などを職員と共に行っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	職員と買物に行ったり、公園などで食事をするなど季節と利用者の体調に応じた外出ができるよう配慮している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者も含め職員全体が鍵をかけることの弊害を理解しており、その努力がみられる。玄関は侵入者防止のため施錠しているが、日中、無断で外出する利用者がある中で、近隣商店との連携などの環境整備をはかるなどの配慮がみられる。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署による避難訓練指導を受けていると共に職員間の非常時の連絡網が整備されている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通して確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日を通し、利用者の食事量、水分摂取を確認しており、湯のみや茶碗などは利用者が長年使い慣れた容器を使用するなど、利用者個々の習慣を尊重するとともに水分量のなどの記録の徹底をおこなっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホーム全体の作りに家庭的な雰囲気が感じられ、共有空間の居間、食堂などには季節に応じた飾り付けもされており、生活をしている利用者の落ち着きがみられる。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の居室には、長年、使い慣れた家具が置かれている。		

 は、重点項目。